

## 令和5年度 学校関係者評価委員会報告書

世田谷区立弦巻中学校 学校関係者評価委員会

本委員会では「世田谷区立学校 学校評価システム」に基づき実施されたアンケート（在校生・保護者・地域対象）の結果を分析し、教職員、委員間での意見交換を経て下記のとおり評価するものとし、報告いたします。

なお、本報告書は全体的傾向を捉えまとめたものです。アンケート結果（全体の数値）は、本校のホームページに掲載されますので、そちらも併せてご参照ください。

### [全体総括]

まず、本年度も生徒・保護者共に学年を問わず、ほとんどの項目で肯定的な回答（とても思う、思う）が多く得られていたことを、高く評価させていただきます。これは昨年度も同様の結果であり、長らく続いている傾向で、本校では学校と生徒・保護者との良い信頼関係があり、安定した学校運営が行われていることが見受けられました。長く続いたコロナ禍においては、学校運営にも難儀される日々が続いたことと思いますが、その様な中でも高い評価を得続けておられることは、地域にとっても大変有意義なことです。特に、学校生活が「楽しい」「達成感がある」に対して、保護者・生徒共に約9割の肯定評価が得られていることは、大切な指標であると考えます。

### [定点比較]

本委員会では毎年、本アンケートの「回収率」とホームページ等からの「情報発信」に関する回答及び、学校生活において重要度の高い「学校行事について」の関連回答を、定量的指標として注目しております。

#### 1) 回収率について

本アンケート制度は、学校生活について生徒が実感を持つこと、保護者や地域の方に関心を持って見守られる為に必要なものと、本委員会で毎年回収率に注目しております。「学校連絡メール（「すぐる」）」を利用し電子化され2回目の今回、その回収率は生徒78.9%・保護者74.4%となり、十分なものと思われれます。

保護者では昨年の51.2%に比べ23.2P上昇し、電子化前の回収率（一昨年77.4%）と同様の回収率に戻りました。再案内メールを繰り返す、お便りでも告知をする等、回収率低下の原因に対策を講じたとのこと。区平均（約44%）より高く、早々に改善策を取り入れられたことが結果に表れました。今年度は学校行事もコロナ禍前と同様に開催されるようになり、委員からは「保護者が学校の様子に触れる機会が増えたことも、回答率を上げた要因になったのでは。」という声もありました。

生徒の回答も約8割で高いものでした。但し、電子化前は例年9割程度でしたので、今後回収率が下がっていかないよう、依頼や回収の方法についてはご留意ください。あらためて本制度の在り方や意義につき、理解が進むようご指導いただけることを望みます。

## 2) 情報発信について

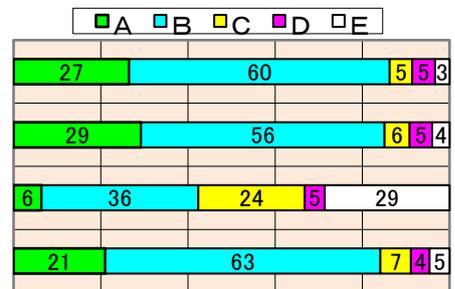
学校からの情報伝達に対する評価は、今回も非常に高く、特に毎日のように情報が更新されているホームページは、学校生活の様子がよくわかるものとして、保護者にも理解され定着し地域の方にも評価されています。有効な情報発信媒体として、例年「わからない」の回答が多い「学び舎」、「地域連携活動」、「ボランティア活動」等多方面の情報発信もなされていますが、引き続き活用をお願いいたします。

### ●学校からの情報提供について

A:とても思う B:思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

#### 保護者全体回答

- (1) 本校は、様々な便りでなどで、保護者に情報を提供している。
- (2) 本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。
- (3) 「学び舎」の区立（幼稚園）小学校について情報が提供されている。
- (4) 本校は、学校公開や保護者会などで、生徒の様子が分かる。



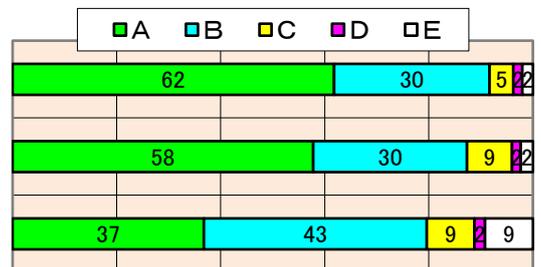
## 3) 学行行事について

学校行事に関して、保護者・生徒共に今年度も肯定評価が8割を越えていました。特に生徒回答では、肯定評価が9割と昨年より更に上昇しました。本年度はようやく実施への制限が必要なくなり、学校行事にも活気が戻ってきました。生徒から「行事」に参加する楽しさや達成感を得られており、保護者にもそれが伝わっている様子が数値にも表れていることに、大きな意味を感じました。

A:とても思う B:思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

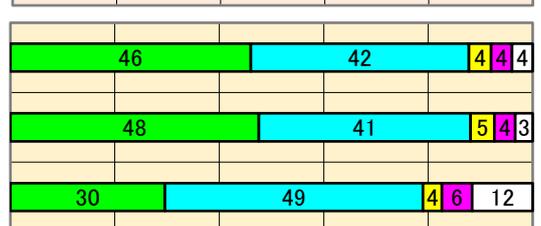
#### 生徒全体回答

- (1) 学校行事は、楽しい。
- (2) 学校行事は、達成感がある。
- (3) 先生は、生徒の意欲を大切にしている。



#### 保護者全体回答

- (1) 学校行事は、子どもにとって楽しい。
- (2) 学校行事は、子どもにとって達成感がある。
- (3) 本校は、子どもの意欲を大切にしている。



## [重点目標に対する達成状況について]

本校では教育目標を「優しさいっぱい弦巻中」優心・優考・優健とし、教育活動を推進しています。その実現の為、今年度の重点目標としていた以下の3点につき、本校の独自設問への結果により振り返ります。

### <重点目標>

- (1) 「優しく他人を思いやることを心がけて人と接し、人や社会の力になることができる」生徒の育成。
- (2) 知識や技能を活用して考えたり議論したり、発表する時に豊かに表現する力が身に付くようにする。
- (3) 日頃から「快食・快眠・快運動」など健康管理や体力を向上する習慣が身に付くようにする。

重点目標(1)に関連した「挨拶・マナー」「他人への思いやり」への設問では、保護者・生徒共にいずれも十分に肯定評価が高いのですが、昨年と比較すると生徒全体では5~8P数字を下げていました。「優しさ他人への思いやり」への設問では、「思う」が8P下がり「思わない」が8P上がっていたことには留意が必要かもしれませんが、保護者では、8割を超える方が「優しく他人を思いやることについて話すことがある」に「ある」と回答されており、地域の方の回答でも本校の生徒の「挨拶・マナー」に、例年同様の高い評価(肯定評価88%)をいただいていますので、課題とは見えません。

但し、コロナ禍では他人との関わりが断たれ、挨拶すら機会を失われた時期があり、生徒の皆さんは、他人とのコミュニケーションの経験が積み上げられないままだったのかもしれませんが。基本的なマナーの習得と共に、「優しく他人を思いやることを心がけて人と接し、人の力になっている」と、生徒が実感できているのか、注力いただけるようお願いいたします。

重点目標(2)に関連した項目では、保護者・生徒共に肯定評価を得られています。デジタル機器の導入は、コロナ禍における数少ないプラスの要因でした。小学校時代から授業や家庭学習に利用が始まっていた現生徒及びその保護者では、デジタルの利用は既に当然のことと理解されています。その様な前提の中、家庭学習への効果は未だ「わからない」の回答も多くなっています。また、教職員の回答で「ICTを活用して校務が進められている」との設問に対して、否定的評価が21%となっています。新たに本校に来られた先生に対して、本校のICT活用について情報の共有をする取り組みがされているとのことですが、新しい情報や仕組みを積極的に取り入れながら、引き続き推進をお願いいたします。

学びの基本となる健やかさに対する重点目標(3)には、今回も高い肯定評価が得られています。

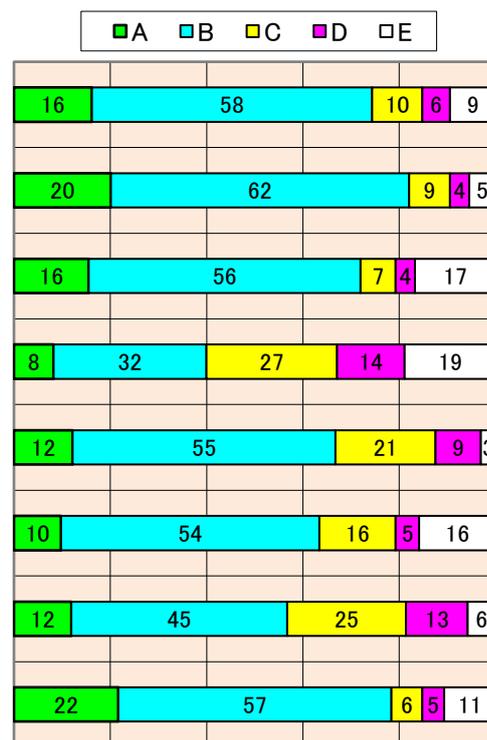
その他では、「ボランティア活動」の回答結果に注目いたします。この設問は例年「あまり思わない」「思わない」の数字が比較的多くみられていたのですが、今年度は保護者全体・生徒全体共に否定的評価が10P程度減少していました(保護者全体:41%、昨年度51%/生徒全体:今年度56%、昨年度67%)。毎年多くの生徒が地域防災・地域清掃活動に熱心に取り組み、その姿は地域の方にも高く評価されているにも関わらず、保護者・生徒に「思わない」と回答されることには違和感があり、昨年度の委員会では、生徒が自己の活動を振り返る機会を取り入れるなど、先生方からの声掛け等をお願いしておりましたので、これは成果と考えます。今後も授業や学校ホームページ等を通じてより積極的な情報発信をしながら、引き続き深耕をお願いいたします。

## ●弦巻中学校独自項目

### 保護者全体回答

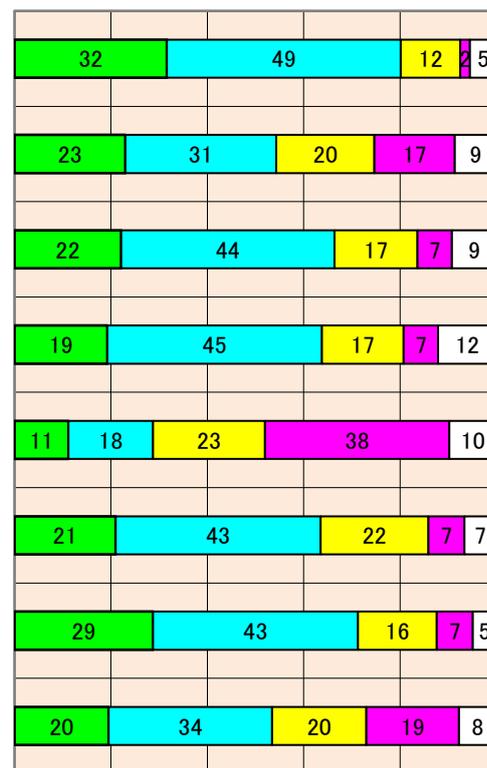
A:とても思う B:思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

- (1) 子どもは、「あいさつ」「言葉づかい」「マナー」に気をつけ実行している。
- (2) 優しく他人を思いやることや、人の力になることの大切さについて、子どもと話すことがある。
- (3) 学校は、授業で調べて発表する学習活動に取り組んでいる。
- (4) 子どもは、地域行事や地域清掃等のボランティア活動に積極的に取り組んでいる。
- (5) 子どもは、日頃から「快食・快眠・快運動」などを心掛けるなど、健康管理する習慣がついている。
- (6) 学校では、感染症対策がとられているので安心している。
- (7) 子どもは、学校から渡された“タブレット端末”を家庭学習に活用している。
- (8) 特別支援教育（I組：特別支援学級、すまいるルーム：特別支援教室、他）について、理解している。



### 生徒全体回答

- (1) わたしは、「あいさつ」「言葉づかい」「マナー」に気を付け実行している。
- (2) 優しく他人を思いやることや、人の力になることの大切さについて、家庭で話すことがある。
- (3) 授業で学級やグループの中で自分（たち）で課題を立ててその解決に向けて本などから情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習課題に取り組んでいる。
- (4) (3)の発表において自分（たち）の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立て、ICT利用を工夫して発表している。
- (5) わたしは、地域行事や地域清掃等のボランティア活動に積極的に取り組んでいる。
- (6) わたしは、日頃から「快食・快眠・快運動」などを心がけ健康管理をしている。
- (7) わたしは、感染症対策に気を付けながら学校生活を送っている。
- (8) わたしは、学校から渡された“タブレット端末”を家庭学習に活用している。



[その他注目される事項について]

1) キャリア教育について

一昨年度、学校行事や学業全般を自ら目標化し振り返る「キャリア・パスポート」が導入され、設問が追加されました。新しい項目ですので、以降、制度の理解深耕をキャリア教育全般の評価として追っております。

保護者・生徒共に全体回答では、否定的・わからないの合計がいずれも約4割ありましたが、学年ごとの回答を見ていくと「思う」「とても思う」の肯定評価が高くなっています。(以下、「(参考) キャリア教育について 生徒回答の学年比較」参照。)

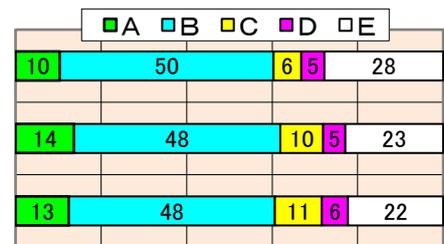
特に二年生の数値が高く、本年度3年ぶりに行われた職場体験から実感を得たように思います。地域の方々にご協力いただきながら行う学校行事である職場体験活動の意義を、改めて確認できる結果となりました。三年生では全ての設問に対して肯定評価が高く、保護者にもその傾向が見えました。

●キャリア教育について

A:とても思う B:思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

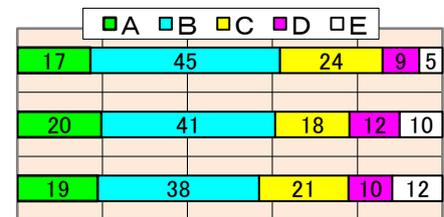
保護者全体回答

- (1) 本校は、キャリア・パスポートの目標について子どもに考えさせる指導をしている。
- (2) 本校は、子どもの進路や将来のことについて考える授業がある。
- (3) 本校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。



生徒全体回答

- (1) 私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。
- (2) 自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある。
- (3) 学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。

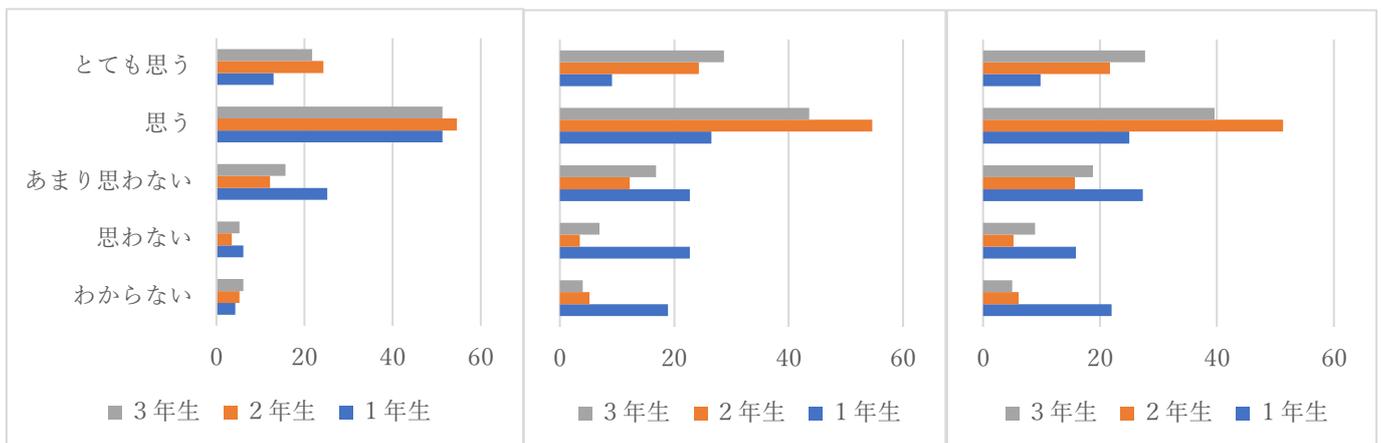


(参考) キャリア教育について 生徒回答の学年比較

上記 設問 (1) への回答

設問 (2) への回答

設問 (3) への回答



## 2) 地域との連携について

地域連携に関連する設問は、例年「わからない」の回答が多くなってしまっているのですが、コロナ禍の影響が残り、地域交流イベントも減少したままであり、本校内だけでは完結しない状況と理解いたします。学校経営方針である「優郷の学び舎」11年教育「世田谷 11+」については、ホームページでも発信をされていますので、引き続き情宣をお願いいたします。

なお、「教職員自己点検」では、「地域との連携・協働による教育」に関する項目で、「積極的な参加ができていない (21%)」「(学校協議会・学校運営委員会の活動に対して) わからない (17%)」との結果が寄せられていました。新たに本校に来られた先生も多いとのこと。「優郷の学び舎」の意義を通して、地域との連携の在り方について先生方の理解深耕をお願いいたします。

### [最後に]

今年度は3年ぶりに学校行事が制限無く実施され、活気が高まった一年だったことがアンケートの結果にも表れていました。コロナ禍での学校運営は、難しい局面の連続であったことと思われませんが、その様な中でも、今後に生きることと習得されたことと思います。次年度も益々活気のある学校運営をお願いいたします。

以上が本委員会における本年度の評価内容となります。